

資料4

分野		評価指標	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	中間目標値	第5期目標値	評価
1 身体活動・運動分野	① 活動量の増加	新体力テストで合計得点平均値(小学校5年生) (体力テスト)	すこやか教育推進課	男子50.28点 女子51.59点	男子50.00点 女子50.72点	男女ともに 53.0点	男女ともに 55.0点	➡
		日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(40~74歳) (国保特定健診問診票)	健康推進課	男性44.7% 女性42.5%	男性44.2% 女性44.7% (暫定値)	男性45.4% 女性44.2%	男性46.5% 女性45.5%	➡ ↑
		マイ体力アップ事業(縄跳びでびわ湖一周)で目標をクリアする児童の割合 (すこやか教育推進課算出)	すこやか教育推進課	8.1%	5.1%	40.0%	60.0%	⬇
		1週間の総運動時間60分未満の割合(小5) (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	すこやか教育推進課	男子10.4% 女子17.4%	男子11.2% 女子22.2%	男子 8.5% 女子15.5%	男子 7.0% 女子14.0%	⬇
		成人(18歳以上)の週1回の運動実施率 (長浜市市民意識調査)	文化スポーツ課	54.6% (R5)	—	70.0%	70.0%以上	—
	② 運動習慣の確立	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施している人の割合(40~74歳) (国保特定健診問診票)	健康推進課	男性38.2% 女性30.2%	男性37.5% 女性32.2% (暫定値)	男性38.9% 女性31.4%	男性39.7% 女性32.8%	➡ ↑
		転倒予防自主グループ参加者数の増加 (長寿推進課)	長寿推進課	2,536人	1,557人	—	—	⬇
		分野	評価指標	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	中間目標値	第5期目標値
		成人の喫煙率の低下 (健康ながはま21アンケート)		男性 22.3% 女性 3.1%	—	—	男性20.0%以下 女性 3.0%以下	—
		成人の喫煙率の低下 (国保特定健診問診表)	健康推進課	男性 22.0% 女性 3.5%	男性 21.1% 女性 3.3% (暫定値)	—	—	➡ ↑
2 喫煙対策分野	① 禁煙の推進、受動喫煙の防止	受動喫煙の機会を有する人の割合の減少 (健康ながはま21アンケート)		家庭 15.4%	—	—	8.0%以下	—
				自治会館17.1%	—	—	10.0%以下	—
				公共施設13.2%	—	—	0%	—
				商業施設39.0%	—	—	10.0%以下	—
	② 妊婦・子どもをもつ保育者・20歳	4か月児をもつ保護者の喫煙者の減少 (4か月児健康診査子育てアンケート)	健康推進課	母 3.08% 父(パートナー) 26.2%	母 3.23% 父(パートナー) 28.3%	母 2.8% 父(パートナー) 23.0%	母 2.5% 父(パートナー) 20.0%以下	⬇ ➡
		子どもや妊婦の前で喫煙しないよう心がけている人の増加(健康ながはま21アンケート)		78.8%	—	—	85.0%	—
		将来たばこを吸わないでいようと思う生徒の割合 (がん教育事後アンケート)	健康推進課	96.2%	96.5%	98.0%	100%	➡
		喫煙している妊婦の割合の減少 (妊婦おたずね票)	健康推進課	1.1%	1.8%	—	—	⬇



分野			評価指標	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	中間目標値	第5期目標値	評価
3 飲酒分野	① 適正飲酒の推進	長浜市国保特定健診受診者の週1回以上飲酒する人のうち、1日あたりの飲酒量が2合以上の人割合の減少 (国保特定健診問診票)	健康推進課	男性12.26% 女性 1.35%	男性11.0% 女性 1.5% (暫定値)	男性11.0% 女性 1.0%	男性10.0% 女性 0.5%	改善傾向 ➡	横ばい傾向 ➡
			健康推進課	男性41.83% 女性 8.3 %	男性41.4% 女性 8.4% (暫定値)	男性35.0% 女性 7.0%	男性30.0% 女性 5.0%	改善傾向 ➡	横ばい傾向 ➡
		適正飲酒量を知っている人の割合の増加 (健康ながはま21アンケート)		51.0%	—	—	70.0%	—	—
	② 妊婦の・飲酒20歳未満の 飲酒の 防止	地域で20歳未満の人にお酒を勧める人の減少(健康ながはま21アンケート)		5.6%	—	—	0%	—	—
		飲酒している妊婦の割合の減少 (妊婦おたずね票)	健康推進課	0.95%	0.75%	0%	0%	改善傾向 ➡	—
分野			評価指標	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	中間目標値	第5期目標値	評価
4 ここころ・休養分野	① 適切な睡眠習慣の確立	睡眠で休養が十分にとれていると思う人の割合(19歳以上) (生活習慣病健診問診票、国保特定健診問診票)	健康推進課	67.1%	66.4% (暫定値)	70.0%	75.0%	悪化傾向 ➡	—
			小学1~3年生 (9時間以上)	すこやか教育推進課	69.0%	73.0%	70.0%	70.0%	改善傾向 ➡
			小学4~6年生 (8時間以上)	すこやか教育推進課	87.0%	87.0%	90.0%	90.0%	横ばい傾向 ➡
	② 余暇活動の推進	中学生 (7時間以上)	すこやか教育推進課	77.0%	80.5%	80.0%	80.0%	改善傾向 ➡	—
			学习・趣味・スポーツのための時間がとれている人の増加 (健康ながはま21アンケート)		47.60%	—	—	50.00%	—
分野			子どもの学びと生涯学習のまちづくり推進事業への参加者数 (生涯学習課調べ)	生涯学習課	8,142人	10,291人	増加	増加	改善傾向 ➡

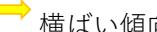
→ 改善傾向
➡ 横ばい傾向
➡ 悪化傾向

分野		評価指標	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	中間目標値	第5期目標値	評価
5 歯・口腔の健康分野	① むし歯や歯周病の予防	むし歯のない人の割合 (滋賀県の歯科保健関係資料集(12歳児)、健康推進課調べ(3歳児))	健康推進課	3歳児:87.7% 12歳児:77.0%	3歳児:89.6% 12歳児:—	3歳児:90.0% 12歳児:80.0%	3歳児:90.0% 12歳児:83.0%	➡改善傾向
		30~64歳で歯ぐきから血が出る人の割合 (健康ながはま21アンケート)		39.0%	—	—	29.0%	—
		60歳(55~64歳)で24本以上の歯がある人の割合 (健康ながはま21アンケート)		80.2%	—	—	83.0%	—
		80歳以上で20本以上の歯がある人の割合 (健康ながはま21アンケート)		45.0%	—	—	50.0%	—
		何でも噛んで食べられる人の割合の増加(40歳代) (健康ながはま21アンケート)		81.7%	—	—	90.0%	—
	② 口腔機能の維持向上	何でも噛んで食べられる人の割合の増加(60歳代) (健康ながはま21アンケート)		67.0%	—	—	80.0%	—
		何でも噛んで食べられる人の割合の増加(70歳代) (健康ながはま21アンケート)		59.6%	—	—	70.0%	—
	③ 科定期進診的な推進	むし歯や歯周病予防のために定期的に歯科健診を受診している人の割合(健康ながはま21アンケート)		40.8%	—	—	50.0%	—
	中間評価指標		歯科のかかりつけ医を持っている人の割合 (長浜市3歳8か月児健診問診)	健康推進課	60.0%	59.1%		➡横ばい傾向
			歯科のかかりつけ医を持っている人の割合 (長浜市歯周病検診問診票)	健康推進課	80.0%	75.1%		➡悪化傾向

分野		評価指標		所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	中間目標値	第5期目標値	評価	
6 生活習慣病予防分野	① 生活習慣病予防	特定健康診査受診率(国民健康保険加入者・40～74歳) (特定健診法定報告)			健康推進課	37.1%	36.1% (R6.7未現在 暫定値)	50.0%	60.0%	➡
		がん検診受診率 (滋賀県におけるがん検診実施状況)			胃がん	7.7%(R3)	7.2%(R5暫定値)	8.6%	9.5%	➡
					大腸がん	13.1%(R3)	14.1%(R5暫定値)	14.1%	15.3%	↑
					肺がん	5.5%(R3)	6.2%(R5暫定値)	6.1%	7.0%	↑
					子宮頸がん	19.2%(R3)	22.6%(R5暫定値)	21.0%	23.4%	↑
		肥満の人の割合 (国保特定健診・長浜市学校保健研究集録)			乳がん	23.1%(R3)	26.2%(R5暫定値)	24.9%	27.9%	↑
					BMI25以上の人 の割合の減少 (国保特定健診、4 0～74歳)	健康推進課	男性31.0% 女性21.3%	男性30.2% 女性20.1% (暫定値)	男性29.5% 女性20.4%	男性: 27.5%以下 女性: 19.0%以下
		やせの割合 (長浜市学校保健研究集録)			肥満度20% 以上の子どもの割 合の減少 (小5)	すこやか教育推進課	男子14.5% 女子 8.0%	男子12.8% 女子 7.0%	男子11.3% 女子 7.2%	男子9.0% 女子7.0%
					小5男子	すこやか 教育推進課	2.2	1.7		↑
					小5女子	すこやか 教育推進課	2.1	3.7		➡
	② 病気の悪化予防・管理	全出生数中の低出生体重児の割合			健康推進課	9.3	6.2			↑
		特定保健指導実施率 (国民健康保険加入者・40～74歳) (特定健診法定報告)			健康推進課	55.8%	63.6% (R6.7未現在 暫定値)	58.5%	60.0%	↑↑
		メタボリックシンドローム該当者(国民健康保険加入者・ 40～74歳) (特定健診法定報告)			健康推進課	該当者19.3% 予備群11.4%	該当者20.8% 予備群11.4% (暫定値)	該当者19.0% 予備群11.0%	該当者 19.0%以下 予備群 11.0%以下	➡
		収縮期血圧の有所見率(国民健康保険特定健診)			健康推進課	男性50.9% 女性44.8%	男性51.2% 女性45.0% (暫定値)	現状値より 減少傾向	減少傾向	➡
		がん検診精密検査受診率(大腸がん検診) (滋賀県におけるがん検診実施状況)			健康推進課	84.3%(R3)	86.7%(R5暫定値)	100%	100%	↑
		慢性閉塞性肺疾患(COPD)の年齢調整死亡率 (人口10万対) (湖北健康福祉事務所事業年報)			健康企画課	12.5 (R2)	16.8 (R3)	11.3	10.0	↓



分野			評価指標	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	中間目標値	第5期目標値	評価
7 地域医療分野	① 医療資源を深めいる市	休日昼間の3病院の救急外来と休日急患診療所の受診者総数のうち、休日急患診療所の受診割合(地域医療課調べ)	地域医療課	35.7%	37.6%	38.0%以上	40.0%以上		
		かかりつけ医をもつ人の割合(健康ながはま21アンケート)	地域医療課	69.5%	—	—	維持	—	
	② 域実在制医の宅の療め療強連め療化携のの体地充	在宅で亡くなる人の割合(湖北健康福祉事務所事業年報)	地域医療課	19.5%(R3)	最新値未公表	維持	維持	—	
	③ 医療可能確保するべき地	山間へき地における医師数(地域医療課調べ)	地域医療課	23人	22人	維持	維持		
分野			評価指標	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	中間目標値	第5期目標値	評価
8 食育推進計画 (食育・栄養分野)	① こどもから大人まで食を通じた心身	うまみを利用してR4年度の塩分摂取量から2g以上減少させる(滋賀の健康・栄養マップ調査)		男性:11.8g/日 女性: 9.9g/日	—	男性:9.0g/日以下 女性:8.0g/日以下	男性:7.5g/日以下 女性:6.5g/日以下	—	
		野菜摂取量350g/日以上摂取する(野菜を1日小鉢5皿以上摂取している)(滋賀の健康・栄養マップ調査)		男性:232g/日 女性:242g/日	—	300g/日以上	350g/日以上	—	
		朝食欠食率の減少(長浜市学校保健研究集録)(健康推進課調べ)	すこやか教育推進課 健康推進課	中学2年生 6.0% 3歳8か月児健診 1.5%	中学2年生 7.4% 3歳8か月児健診 0.94%	中学2年生 4.0% 3歳8か月児健診 0.7%	中学2年生 2.0% 3歳8か月児健診 0.1%		
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上とる人の割合の増加(健康ながはまアンケート)		男性:29.1% 女性:42.6%	—	R4より増加傾向	男性:50.0%以上 女性:60.0%以上	—	
	② と食食を通じ育びた成生豊きかるな力心	誰かと一緒に食べる「共食」をしたいと思っている人が増える(子ども・高齢者などの地域の共食を勧めていく)(健康ながはま21アンケート)		朝ごはん:69.8% 夕ごはん:89.6%	—	—	90.0%以上	—	
		1年間で米や野菜、魚等の収穫体験(家庭菜園・魚釣り等を含む)をしたことのある人の増加(子ども向け食べることに関するアンケート調査:小中学生対象)	すこやか教育推進課	48.0%	—	49.0% 学校での食育アンケート	50.0%以上	—	
	中間評価指標		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上とる人の割合の増加(健康推進課調べ)	健康推進課	男性:40.0%以上 女性:50.0%以上	R8実施予定			
		「共食」の回数の増加(誰かと一緒に食べる日が3日以上)(小学校・園でのアンケート調査)	すこやか教育推進課	90.0%以上	—				

長浜市自殺対策計画	目標値	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	評価	  
	自殺死亡率(人口10万対)目標値 令和12年9.9%以下	健康推進課	19.9%	11.3%		
	主な評価指標	所管課	現状値 (R4年度実績値)	R6 (R5年度実績値)	課題	R6年度の配慮点
	基本施策4:ゲートキーパー研修受講者数(延人数)	健康推進課	3,491人	3,812人	ゲートキーパーの認知度はまだ低く、数も少ない。	幅広い分野や世代の方が受講できるよう、あらゆる機会をとらえ働きかけていく。企業などの職場での開催に重点をおく。
	基本施策5:保護者や教職員向け研修会の実施 (延開催数)	健康推進課	—	1回	若年層の自殺や自殺未遂が増加しているため、この世代への取組が重要である。	教職員向けの自殺予防教育研修会を実施。教育委員会、養護教諭と連携して取組を進めめる。
	重点施策1:産婦健診の受診率	健康推進課	—	—	産後うつ病を早期発見するための指標のEPDSは、9点以上の「産後うつ病のシグナルが出ていると考えられる状態」の割合が、コロナ禍の影響を受け、少し高くなっているものの、低い値を維持している。	産後うつの早期発見・早期支援のため、今年度から産婦健診を実施し、医療機関等と連携し継続した支援を行う。母子手帳交付時や新生児訪問などの機会に、妊産婦やその家族に産後うつについての正しい知識を周知する。
	重点施策2:職場でメンタルヘルス研修(延人数)	健康推進課	19企業	23企業	働く世代の自殺者数が増加しているため、この世代への取組を重点的に実施する。	企業内人権研修等の機会に、職場でのメンタルヘルス研修の必要性を使え、研修会の開催について依頼する。